



オアシス

文責：学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2024年12月19日発行 第77号

12月も半ばを過ぎると冬本番の兆しが見え隠れし、服装も少しずつ厚着をするようになりました。干支でいうと辰年が終わりを迎え、来年は巳年です。私は年男です。んっ！何歳？

前号（第76号）オアシスで、SNSについて少し触れました。その後、SNSとはいったい何者なんだろうと探ってみることにしました。結論から言いますと、IT企業に操られているという事になります。その仕組みは、自由にスマホ等で閲覧していると突然広告が飛び込んでくることがあると思います。何もしなければ事は起こりませんが、その広告についつられて入ってしまうところにワナ？が仕掛けられている事です。怖いのがその広告は、本人の興味を持つ内容が選ばれて入ってくるのです。では、誰が操作しているのかというと、AIです。普段、個人が興味のある内容を検索している項目をAIが自動的に抽出し、広告を送るシステムになっているという事です。この仕組みを考えているのがIT企業を運営しているいわゆる天才たちです。その天才たちの目的は常に利益優先に動き、個人に係る悪影響などはあまり考えられていないようです。しかし、悪影響だからといってすべてを制限してしまうと有益な情報までが失われることにつながるため、この問題は大きな課題となっているようです。要は、個人がしっかりと判断をしながら適切に使用することを心掛けなくてはならないということでしょうか…？

IZUMOpera コーナー

●ニューイヤーコンサートの開催！

年の始まりに行われるコンサートは、「ニューイヤーコンサート」と題した公演が目白押しですが、クラシック界でもっとも有名なのは、ウィーンフィルが毎年元日に行う「ニューイヤーコンサート」でしょうか…。その公演は、ウィーンフィルの本拠地である「楽友協会大ホール」で開催されます。通称「黄金のホール」とも呼ばれ、内装が黄金色で統一されシャンデリアがとても印象的です。新年には、TV放送されるので毎年楽しみの一つとして定着しています。オーケストラの様子を観察するのも面白いですが、観客の様子も気になります。皆さん正装で礼服にドレス姿が新年として特別なコンサートに位置付けられている感じがうかがえます。観客の中には、和装で着物姿も多くみられ、日本からも多くの方が鑑賞されているようです。

「楽友協会大ホール」といえば1870年の設立当初、大作曲家ブラームスが指揮台に立っていたことに思いを馳せ、どのような響きをするのだろうかとは一度は訪れてみたいコンサートホールの一つです。

前置きが長くなりました。私たちのオーケストラ、出雲フィルハーモニー・チェンバーオーケストラによる『ニューイヤーコンサート



次ページへ

in ひらた』が開催されます。この公演は、アウトリーチ事業として、出雲フィル・チェンバーオーケストラのメンバーがアンサンブルを編成し(今年度は3編成)、幼稚園、こども園、小中学校等へ出前演奏を繰り広げているものを、メンバー全員が揃ってチェンバーオーケストラとしてコンサートを開催するものです。

今回もゲスト・コンサートマスターに高畑壮平さんをお迎えし、多彩なプログラムが企画されています。内容は、ウィーンの香りヨハン・シュトラウス2世の曲から、各種歌劇のハイライト、音楽の父バッハ曲、ドヴォルザークのスラブ舞曲等、お馴染みの曲が沢山盛り込まれています。詳細については、ポスターやチラシ、ホームページでご確認ください。

また、以前に校歌プロジェクトで出雲市内の小中学校の校歌を録音しましたが、今回は、平田地域小学校の校歌を披露いたします。そして、恒例になりつつありますが、会場から指揮者を募り、「指揮者体験コーナー」を実施します。体験してみたい方は、是非、会場で意思表示をしてみてください！

終演後には、楽器体験コーナーもありますのでお楽しみください。将来のアーティストが生まれるきっかけになるかもしれません…。

このコンサートは、中学生以下は無料としており、就学前のお子様も入場可能です。是非、ご家族おそろいでお出かけください。お待ちしております。

フォトギャラリー



チャペルコンサート



クリスマス・サロン
・コンサート
天使のキャロル



キャンディ・ライブ



Jr. コーラス体験会



楽器別（Vn 指導）講座



ベーシック弦楽合奏



Jr. オーケストラ合奏



弦楽カルテット体験



レコード選定会

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】